

東大病院先端医療シーズ開発フォーラム 2018

～新しい医療へのブレークスルー～

開催レポート

平成 30 年 2 月 1 日（木）、東京大学伊藤国際学術研究センターにおいて、東大病院先端医療シーズ開発フォーラム 2018～新しい新しい医療へのブレークスルー～を開催いたしました。

東大病院では、先端医療開発研究を目的とした多彩な取り組みが進められています。臨床研究支援センター、トランスレーショナルリサーチ (TR) センター、早期・探索開発推進室、臨床研究ガバナンス部企画戦略・推進室がこのような活動を支える基盤として整備されており、22 世紀医療センター、医工連携部、ティッシュ・エンジニアリング (TE) 部、ゲノム医学研究支援センターがそれぞれの分野で積極的に活動しています。これらの組織を東大病院先端医療開発部門として位置づけ、フォーラムを通じて部局間の連携を深めるとともに、その多彩な取り組みを社会に広くアピールすることを目的として共同でフォーラムを開催いたしました。東大病院と密接に連携しながら医療機器開発を進めている工学部の「医療福祉工学開発評価センター」、人材育成を実践する「ライフイノベーションを先導するリーダー養成プログラム」、東大の橋渡し研究を強力に推進する「東京大学トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ (TR 機構)」、未来の医療を創造するリーダーの育成を目指す「東京大学医療イノベーションイニシアティブ」、社会課題解決に向けた新しい人材の育成を目指す「社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム (GSDM)」、産学連携オープンイノベーション拠点形成である東京大学「自分で守る健康社会」COI 拠点と、多くの組織が共催としてフォーラムに参加しました。

フォーラムの午前の部では、斉藤延人東大病院病院長の開会の挨拶に続いて、6 名の演者による口演がなされました。また、「研究者と話せるシーズ見本市」と題して、各部門に所属する講座の研究内容を発表する 42 のポスター発表が行われました。ポスターの前では熱い議論が続きました。後半の講演セッションでは、「～Big Data と AI が切り拓く新しい医療～」と題して、7 名の演者による講演が行われました。

フォーラムには 300 名が参加されました。本フォーラムが、医療における科学技術の推進、および医薬品・医療機器・医療技術の研究開発、そしてその成果の社会的な受け皿である医療産業の振興に尽力し、新たな医療システムの構築に向け社会に発信するための第一歩となることを希望しています。また、現在病に苦しんでおられる方、ご家族の方に対して少しでも希望となることを心より願っています。

東大病院先端医療シーズ開発フォーラム

実行委員会 一同



講演風景（質疑応答）



講演風景（全体）